

5. 施策の成果指標							
成果指標1		新規就農者数（毎年度増加数）					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
組	毎年度	1	維持	0	1	1	1
成果指標2		農産物加工品の開発件数（累計）					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件	令和7年度	51	増加	49	49	50	51
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和5年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）			
農業振興事業 （農林）	担い手、新規就農者への農地の貸付面積			5,408	6,212	10,375	30,565	成果	A：向上を図る	後継者不足などによる遊休農地が問題となっており、大阪府や農業委員会と連携し、農地の利用集積と新規就農者の支援に取組む必要がある。
	R5実績	24,266	m ²	6,615	11,312	8,886	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		－							
農業者育成事業 （農林）	国版認定農業者数			431	789	1,287	989	成果	A：向上を図る	持続可能な農業振興のため、認定農業者や農業者組織の活動や若手農業者の育成を今後も支援していく必要がある。
	R5実績	83	人	2,563	2,612	4,068	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		92.2%							
有害鳥獣捕獲対策事業 （農林）	有害鳥獣捕獲頭数（アライグマ）			1,708	2,213	1,312	2,462	成果	A：向上を図る	有害鳥獣による農作物被害は生産者にとって死活問題であり、今後も市民や農業者、猟友会等と協力して取組む必要がある。
	R5実績	54	頭	7,214	7,668	7,815	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		54.0%							
農業啓発事業 （農林）	市民農園参加人数			375	552	515	600	成果	A：向上を図る	市民が土に触れ野菜を育てることで農業への理解を深める市民農園への支援は必要である。
	R5実績	234	人	2,653	3,322	3,001	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		117.0%							
畜産振興事業 （農林）	畜産周辺の害虫による苦情件数			30	30	30	30	成果	B：現状維持	飼料価格の上昇や衛生問題など畜産農家を取り巻く環境は厳しい状況であり支援継続は必要である。
	R5実績	0	件	185	0	91	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		－							
林業活性化事業 （農林）	森林環境保全整備事業実施面積			20,218	14,721	16,419	18,817	成果	A：向上を図る	森林は木材の生産のみでなく、水源確保や土砂災害防止など様々な役割を果たしており、国の補助金制度や森林環境譲与税を活用した森林整備に積極的に取り組む必要がある。
	R5実績	8	ha	18,878	13,878	13,972	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		－							
土地改良施設整備事業 （農林）	土地改良施設改修工事（団体営・農協営）箇所数、土地改良事業補助金交付箇所数			17,742	36,137	72,053	23,201	成果	B：現状維持	農業生産の基盤インフラである、ため池や水路などの土地改良施設の整備により、持続可能で安定した農業経営を支援する必要がある。
	R5実績	25	箇所	13,907	17,830	16,830	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		－							
土地改良施設維持管理事業 （農林）	土地改良施設維持管理事業補助（市補助金交付工事）＋（市単独工事）			6,015	6,475	6,445	6,980	成果	B：現状維持	農業生産の基盤インフラである、ため池や水路などの土地改良施設を適切に維持管理することにより、持続可能で安定した農業経営を支援する必要がある。
	R5実績	10	箇所	6,581	5,157	4,703	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		－							

農業環境保全事業 (農林)	不法投棄物民間処分回数			3,165	3,054	3,001	3,679	成果	B：現状維持	健全な農業生産環境を維持するため、今後も草・泥や不法投棄物の回収処分を行う必要がある。
	R5実績	1	回	402	554	2,005	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		-							
林道改良事業 (農林)	林道改良工事箇所			3,190	3,085	8,926	20,405	成果	B：現状維持	林業の生産向上と森林の適正な管理を行うため、計画的な林道整備が必要である。
	R5実績	1	箇所	3,113	3,705	3,469	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		-							
林道維持管理事業 (農林)	林道維持管理延長数			500	500	500	501	成果	B：現状維持	草刈りや維持管理等を計画的に実施することにより、林道の通行の安全性を確保し、森林の適正管理に寄与している。
	R5実績	3,370	m	1,132	682	0	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		-							
経営所得安定対策事業 (農林)	経営所得安定対策事業対象者数			2,023	2,083	2,134	2,337	成果	A：向上を図る	食料自給率の向上には、農業者の安定した農業経営が必須であり、国の交付金等を活用した農業者の所得安定対策は必要である。
	R5実績	1,101	人	3,044	4,244	3,709	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率		-							
ほの字の里整備事業 (農林)	施設設備等不具合による事故			4,984	0	0	0	成果	簡易評価	
	R5実績	0	件	0	0	0	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率		-							
農業委員会運営事業 (農委)	農地台帳搭載数			5,541	5,592	12,799	5,776	成果	簡易評価	
	R5実績	23,672	筆	27,632	39,720	38,529	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率		-							

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	概ね達成。
構成事務事業に課題はないか	特になし。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	特になし。

8. 今後の方向性	
担当部長の所見	持続可能な農林畜産業の構築は食料自給率や水源確保・災害抑制の観点から日本全国の課題である。今後においても国の動向を注視しながら生産者や従事者の支援を関係団体との連携により推進し、食や資源の重要な基幹産業の安定経営課題に積極的に取り組む。
担当副市長の意見	本市の都市型農業を発展させるため、高品質・高付加価値な農産品の生産を促し、特産品のブランド化を進め、販路拡大を図っていく。林業については、森林環境税を活用し、森林整備に取組むとともに、森林環境の維持・保全の重要性を啓発していく。